

令和7年度 都立図書館主要事業

「都立図書館実行プラン 2024-2026 誰もが利用したくなる図書館の実現に向けて」(令和6年2月)に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の2年目である令和7年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 首都東京の図書館として、社会の変化や技術の進展に対応した機能の整備・拡充に努め、東京情報を始めとする知の集積・発信を推進する。

- ア 東京情報の集積・発信
- イ 東京に集う外国人へのサービス推進
- ウ デジタル資料の利用における都内公立図書館への導入支援
- エ 図書館情報システム機器更新に向けたアセスメントの実施
- オ 新たな時代を見据えた人材育成の展開
- カ 館内施設の整備・活用促進

【具体的な取組】

東京の社会課題等をテーマにした講座・セミナーの充実、東京に関する音声・映像資料の方針策定、世界陸上・デフリンピックに向けた資料収集の充実、東京に集う外国人(在住・在勤・在学)へのサービス推進(※28期)、外国語電子書籍の提供(※30期)、デジタル資料の利用における都内公立図書館への支援(※30期)、各分野における専門的資質の向上、働きやすい職場空間整備等

(2) 誰もが使いやすいサービスの実現に向けて、最新技術を活用し、アクセシビリティを向上させる。

- ア 複写サービスの改善に向けた検討
- イ ユニバーサルコミュニケーションの推進
- ウ 図書館利用に障害のある人々へのサービスの拡充
- エ 区市町村立図書館員向け研修のオンデマンド配信

【具体的な取組】

インターネットによる図書館資料複写送信サービス(公衆送信サービス)の実施(※30期)、ユニバーサルコミュニケーション技術の活用(※30期)、都立図書館ホームページリニューアルの検討、やさしい日本語のコーナー(仮称)の設置、オンライン音訳サービスの推進(※30期)、視覚障害者等用テキストデータの製作と提供(※30期)、オンデマンド配信による区市町村立図書館への支援拡充(※28期)等

(3) 図書館に集積した知と、リアルな場としての機能を活かし、多様な人々との交流の機会を提供するとともに、学びや知的活動を支援する。

- ア 場としての機能を活かした事業の展開
- イ 学校等への支援拡充

【具体的な取組】

参加型・体験型事業の拡充(※28期)、各関係機関と連携したセミナー等の実施、東京マガジンバンクの雑誌を媒介とした学びの支援の充実(※28期)、学校図書館支援センター機能の充実(※30期)、都立特別支援学校への支援の充実、子供の読書・区市町村支援事業の実施、学校支援プログラムの改善(※28期)等

《共通の施策》 多様な人々に図書館の取組が伝わる広報の充実

【具体的な取組】

SNSの戦略的活用(※30期)、動画発信による都立図書館の紹介(※30期)、やさしい日本語による広報(※30期)等

《先進的取組の実現に向けた技術的・制度的課題の整理》

【具体的な検討事項】

Web フォームの全庁共同電子申請基盤への移行、レファレンスサービスに係る AI 活用の検討
(※30 期) 等